

AccessReadingを活用した学びに向かう力の育成

岩手県立盛岡となん支援学校
教諭 石川 茜

岩手県立盛岡となん支援学校

昭和37年4月 岩手県立養護学校

肢体不自由の子どもたちのために創立

昭和48年4月 「岩手県立盛岡養護学校」と改称

隣接する県立療育センター内に都南校を設置

平成21年4月 「岩手県立盛岡となん支援学校」と改称

隣接する県立療育センター内に分教室を設置

平成30年1月 県立療育センターと共に、矢巾町に移転

本校と分教室が統合



となん

- 学校が旧都南村に位置していたこと
- 分校として都南校を有していたこと
- 中国の荘子に「凶南の翼」の言葉
「南の新天地で
目標に向かって大きく羽ばたく」



特別支援学校 小学部学習指導要領

第2章 各教科

第1節 小学部

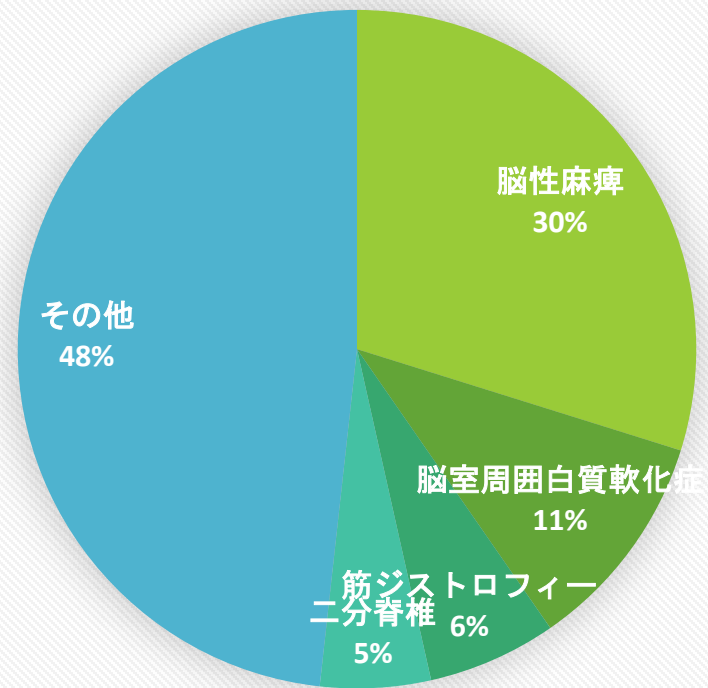
第1款3 肢体不自由者である児童に対する教育を行う特別支援学校

(4) 児童の身体の動きや意思の表出の状態等に応じて、適切な補助具や補助的手段を工夫するとともに、コンピュータ等の情報機器などを有効に活用し、指導の効果を高めるようにすること。

(5) **各教科**の指導にあたっては、特に自立活動の**時間**における指導との密接な関連を保ち、学習効果を一層高めるようにすること。

本校の児童生徒の実態

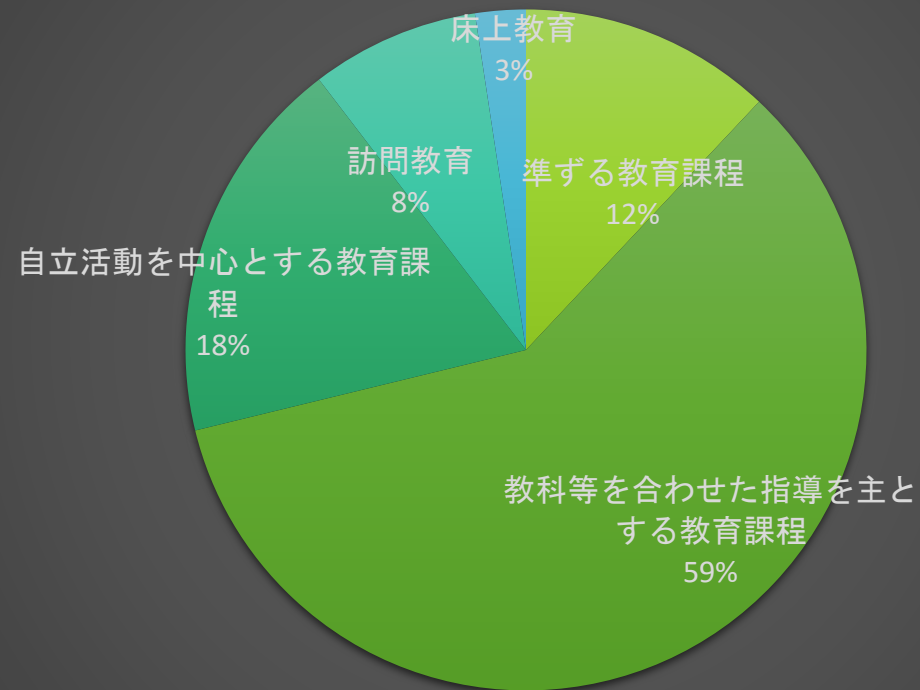
本校児童生徒の主な疾患



■ 脳性麻痺 ■ 脳室周囲白質軟化症 ■ 筋ジストロフィー ■ 二分脊椎 ■ その他

本校の児童生徒の教育課程

本校児童生徒の教育課程



■ 準ずる教育課程 ■ 教科等を合わせた指導を主とする教育課程 ■ 自立活動を中心とする教育課程 ■ 訪問教育 ■ 床上教育

脳性麻痺の定義

受精から生後 4 週までの間に生じた
脳の非進行性病変に基づく
永続的な、しかし変化し得る
運動及び姿勢の異常

1968年厚生省脳性麻痺研究班

脳性麻痺の分類

- 痙直型
高緊張，姿勢の固定化
- アトーゼ型
不随運動，姿勢の保持が困難
- 失調型
低緊張，バランスの保持が困難
- 混合型

脳室周囲白質軟化症

脳性麻痺の中でも、脳の中の脳室周囲に白質（神経線維が行き来する構造）があり、ここに血液がいきわたらず、運動機能障がいを起こす病気をいう

早産に多く見られ、視覚認知や空間認知に課題をもつ児童生徒も少なくない

実践1

1 指導対象

本校小学部 2年 男児

2 アセスメント

- ・矯正視力は、1.0だが、教科書が読みづらい
- ・1文字ずつは読めるが、文章として読みづらい



3 アクセスリーディングの教科書データ（epub形式）

- ポイント数や文字色,
背景色
- 1行に入る文字数

4 自立活動の関連

- iPadの活用開始
- 読み速度の比較（MNリード）
- iPadの縦横を変え、1行に入る文字数を変えることによる読み速度の比較
- 外部専門家の言語聴覚士相談

5 AccessReadingの教科書データ使用の様子



実践 2

1 対象児童

本校小学部 5年男児

2 アセスメント

- ・不随運動により，読んでいる途中からどこを読んでいるか分からなくなる
- ・声に出して読むことに集中すると，内容理解ができていなくなる



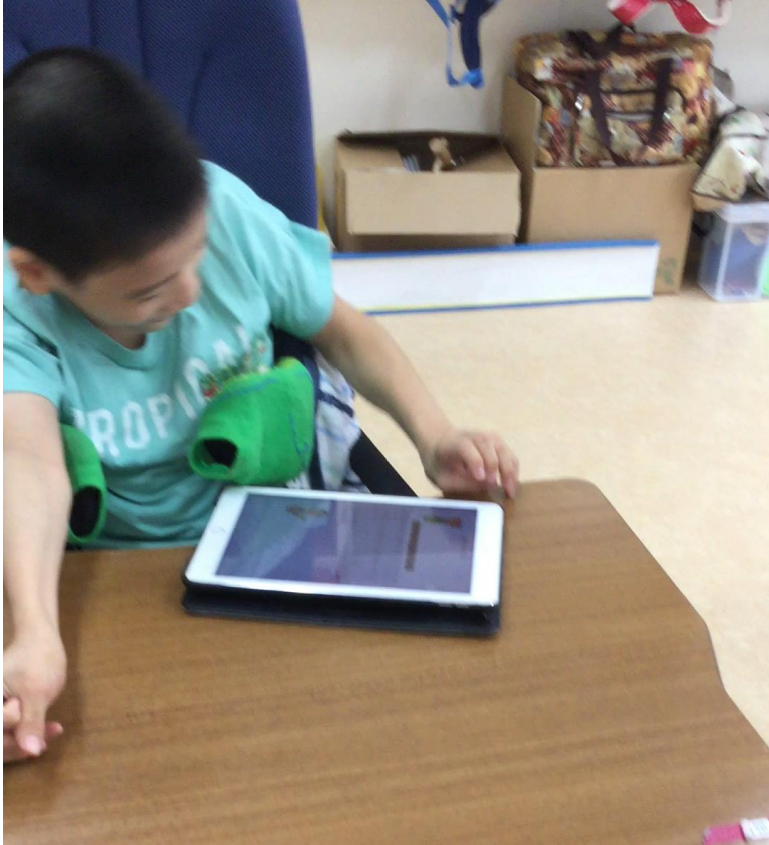
3 AccessReadingの教科書データ（epub形式）

- ・読み上げ機能
- ・検索機能

4 自立活動の関連

- iPadの活用開始
- 「読み上げ」機能の操作確認
- 「検索」機能の操作確認

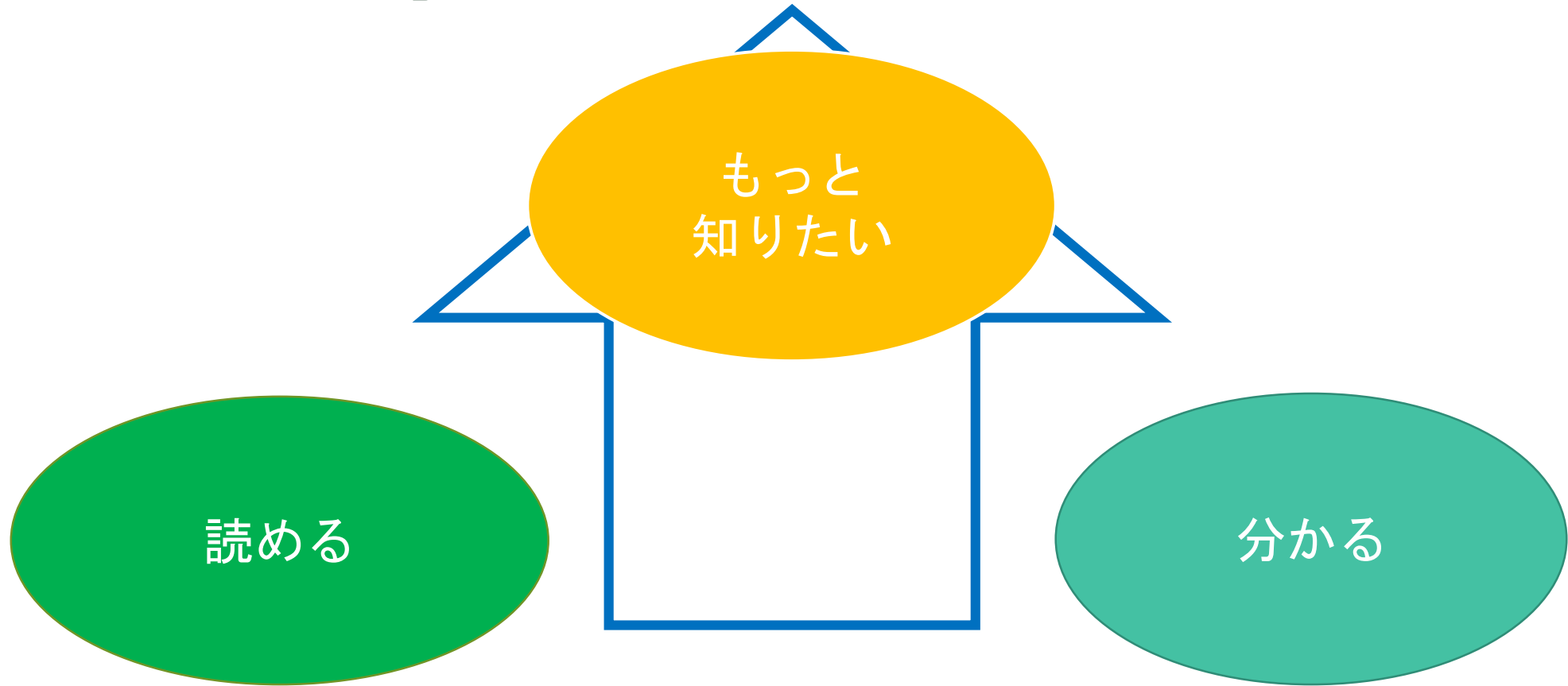
5 AccessReadingの教科書データ使用の様子



AccessReadingの活用をとおして

- 情報の限定（必要な情報だけ提示できる）
- 内容理解
- 繰り返し聞くこと
- 子ども同士の関わり
- 共に学ぶ楽しさを実感

学びに向かう力の向上



さいごに

自分で読まなければいけない，自分で読めなければいけないではなく，「読める」「分かる」手段があるのであれば，どんどん活用していくことが大切だと実感した。また，今後は学校だけでなく，家庭やデイサービスなどでも活用し，さらに，児童が自己実現を1つ1つ重ね，主体的に学習をしていく，そんな後ろ姿を見守っていきたい。